

" Fukui's vision for roads of the future "



















令和3年3月 福井県

### 目 次

第1	章	はじめに	1
	1	背景と策定の趣旨	1
	2	福井県の将来像	2
第2	章	現状と課題	4
	1	福井県をとりまく状況	4
:	2	福井県の道路をとりまく状況	10
:	3	「道路の将来ビジョン(H16.1)」の成果	15
•	4	福井県の道路整備の課題	16
第3	章	道づくりの基本方針	17
	1	広域交流の拡大	18
	2	産業・観光の活性化	20
	3	幸福度日本一の生活基盤	24
	4	県土強靭化と持続性	27
	5	魅力ある道路空間の創出	32
第4	章	道づくりの基本的な進め方	35
	1	効率的、経済的な事業展開とストック効果の最大化	36
:	2	県民の参画と協働	37
:	3	情報化技術の活用	38
参考	資	以	39
	1	福井の道づくり懇話会	41
	2	福井県の道路についてのアンケート結果	43

#### <表紙写真>

上段左/国道 305 号 新保橋、上段中/ZEN drive、上段右/道の駅「越前おおの 荒島の郷」中段左/一般県道 福井森田丸岡線 新九頭竜橋 (仮称)、中段右/中部縦貫自動車道の整備下段左/三方五湖サイクリングコース、下段中/国道 8 号 (敦賀市元町交差点~白銀交差点)下段右/フェニックス通り (福井市春山 1 丁目)

### 第1章 はじめに

#### 1 背景と策定の趣旨

福井県では、平成16年1月に策定した「道路の将来ビジョン」に基づき、着実に道路整備を進めてきました。この間、舞鶴若狭自動車道の全線開通や中部縦貫自動車道永平寺大野道路の開通など高規格幹線道路の整備進捗、橋梁など道路施設の老朽化の進展など、道路をとりまく状況が大きく変化しており、中長期的な道路整備のあり方を見直す時期に来ています。

また、令和2年7月には「福井県長期ビジョン」が策定され、2040年を目標年次として、人口減少・超高齢化社会への突入や経済のグローバル化が進む中、北陸新幹線など高速交通体系の完成を最大限に活かし、福井県がさらに発展していくための将来像が提示されています。

このような状況を踏まえ、「福井県長期ビジョン」に示された将来像の実現に向けて、目標年次を2040年とし、中長期的な道路整備の基本方針や道づくりの進め方を示す「福井県 道路の将来ビジョン」を策定しました。

#### 2 福井県の将来像

福井県では、今後想定される社会環境の変化に対応し、県民の皆さんと将来像を共有して福井県のさらなる発展に向けて行動していくため、令和2年7月に「福井県長期ビジョン」を策定しました。

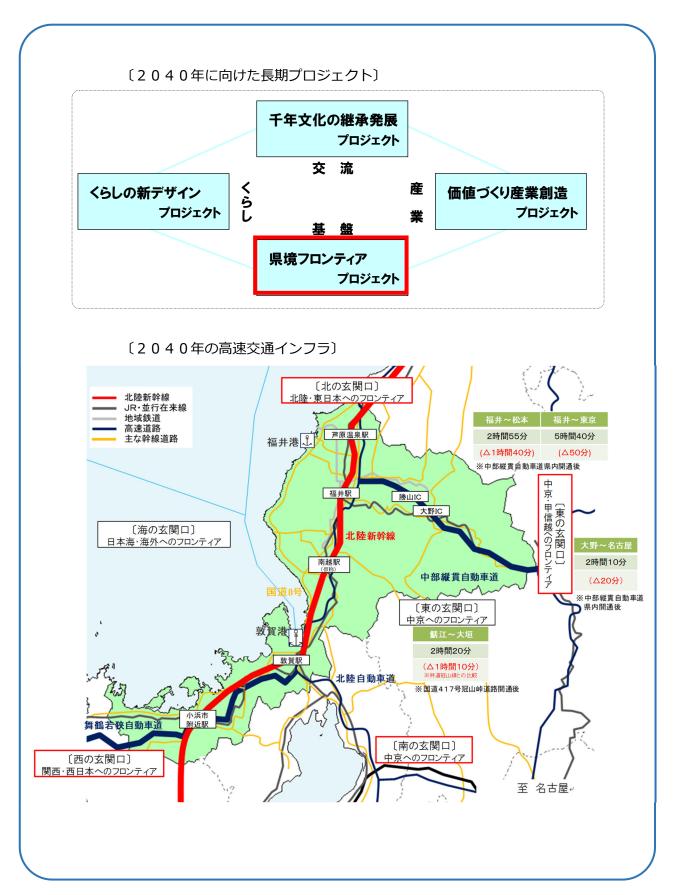
この「福井県長期ビジョン」では、長い歴史の中で先人たちが 培ってきた「安心と信頼」の福井を、みんなで守り、次世代に引き継ぎ、さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい!」福井を目指すことと しており、基本理念として『「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦!もっとおもしろく!』が掲げられています。



そして、〔2040年に福井県が目指す姿〕として、『自信と誇りのふくい』『誰もが主役のふくい』『飛躍するふくい』が掲げられています。特に『飛躍するふくい』においては、交通体系の進展や技術革新を活かして、産業の新たな可能性を拓く、創造的で活力ある"ふくい"を目指し、交流拡大や新技術により、経済・社会の仕組みが大きく変わる可能性があり、こうしたチャンスを最大限に活かし、新時代の産業基盤を確固たるものにするとともに、くらしの質を高め、活力に満ちた地域をつくることとしています。

さらに、〔2040年に向けた長期プロジェクト〕として、『県境フロンティア』『千年文化の継承発展』『くらしの新デザイン』『価値づくりの産業創造』が掲げられています。 『県境フロンティア』においては、東西南北に開く高速交通・物流ネットワークの整備を加速し、新時代の交流・くらし・産業の基盤づくりや歴史・文化やオンリーワンの魅力に磨きをかけ、「交流」と「楽しさ」を大きく拡げる取組、安全で安心して暮らせる住みやすい地域づくり、最新技術を有する企業の誘致など、新たな価値を生み出す産業づくりを推進することとしています。

### (福井県長期ビジョン 2040年の将来構想)



### 第2章 現状と課題

### 1 福井県をとりまく状況

#### (1) 北陸新幹線の福井・敦賀開業と大阪までの延伸

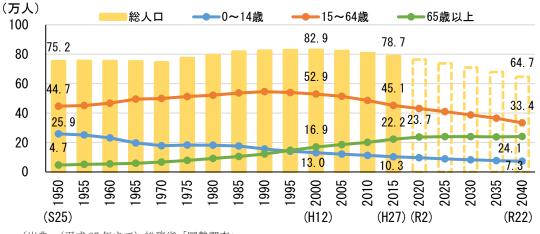
北陸新幹線の福井・敦賀開業により首都圏と直結し、さらに大阪までの延伸により東海道 新幹線などとともに大環状広域観光ルートが形成され、さらなる交流拡大が期待されてい ます。



### (2) 人口減少・少子高齢化

福井県の人口は、平成 12 年(2000 年)の 82.9 万人をピークに減少に転じており、令和 22 年(2040 年)には 64.7 万人まで減少すると推計されています。年齢区分別では老年人口(65 歳以上)が令和 2 年(2020 年)に 23.7 万人に達した後、令和 22 年に 24.1万人とほぼ横ばいで推移する一方、年少人口(0~14歳)はほぼ一貫して減少し、生産年齢人口(15~64歳)も減少傾向が続くことが予測されています。それにより、令和 22 年には本県の人口の約 5 人に 2 人(37%)が 65 歳以上の高齢者になると予測されています。

## 【福井県の総人口の推移】



[出典: (平成27年まで)総務省「国勢調査」、 (令和2年以降)国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」]

### (3) 頻発する大規模災害

近年の地球温暖化の影響で全国的に豪雨災害が頻発しており、本県においても平成16年7月の福井豪雨では、県内各所で浸水等の被害が発生し、特に足羽川においては、福井市街地の堤防が決壊して甚大な被害を受けました。また、平成30年7月の豪雨では法面崩壊により国道305号が通行止めとなり、多くの住民に影響が出ました。

また、年間積雪量は減少傾向にありますが、短期集中的な大雪が発生しており、平成30年2月や令和3年1月の大雪では、嶺北地域の北陸道と国道8号において、大規模な滞留・ 渋滞が発生するなど、県民生活に大きな影響を与えました。

### 【平成16年7月 福井豪雨】



一乗谷川 被災状況

足羽川 被災状況

### 【平成30年7月 豪雨】



国道 305 号 法面崩壊(福井市居倉町)

国道365号法面崩壊(越前町下河原)

### 【平成30年2月 大雪】



国道8号の滞留状況 (あわら市笹岡)

### 【令和3年1月 大雪】



国道8号の渋滞状況 (坂井市丸岡町一本田)

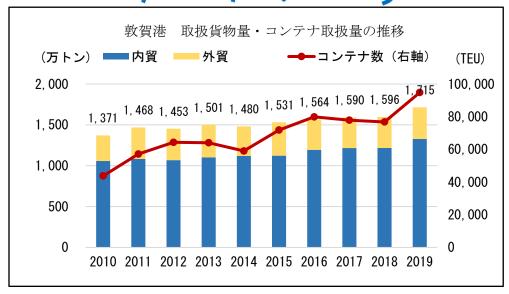
### (4) 県内港湾の状況

重要港湾としての敦賀港は、日本海側で唯一、北海道と九州の両方に航路を持っており、 近年、貨物の取扱量が増加傾向にあります。また、舞鶴若狭自動車道や中部縦貫自動車道に より、敦賀港と関西圏・中京圏が複数の輸送ルートで結ばれるため、太平洋側大規模災害時 においては、太平洋側港湾のバックアップ拠点としての機能が求められています。

地方港湾としての福井港は、テクノポート福井に隣接し、地域産業を担う工業港として、 地域物流と生活を支えています。広大なふ頭用地を活かすことで、敦賀港とともに中京圏か らの利用に最適な日本海側港湾となっています。

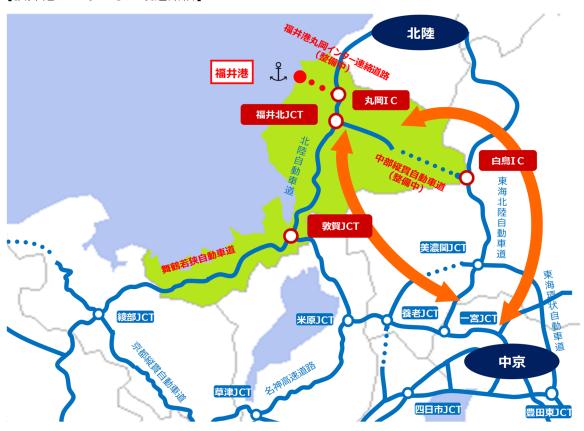
### 【敦賀港につながる広域道路網】

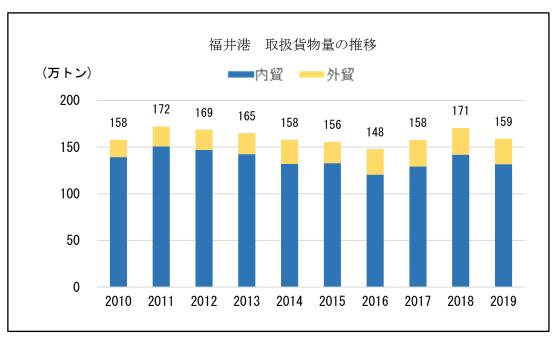




[出典:敦賀港港湾統計年報より]

【福井港につながる広域道路網】





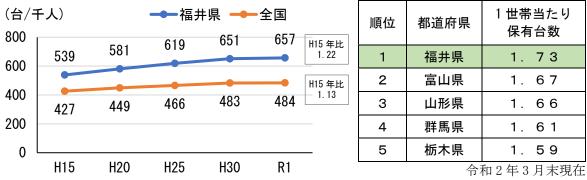
[出典:福井港港湾統計年報より]

### (5) 車中心の社会

全国的に自家用乗用車保有台数は年々増加しており、令和元年の千人あたりの台数は全国が平成 15 年比 1.13 に対し、福井県は 1.22 と伸び率が高くなっています。また、福井県は 1 世帯当たりの自家用車保有台数が 1.73 台と全国 1 位となっており、通勤・通学時の利用交通手段は自家用車が 74.1%を占めるなど、車中心の社会となっています。

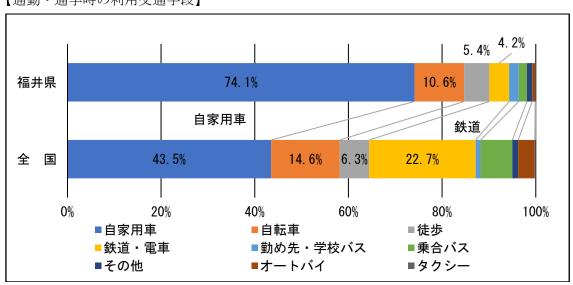
### 【自家用乗用車保有台数】

【1世帯当たり自家用乗用車保有台数】



[出典:(財)自動車検査登録情報協会ホームページより]

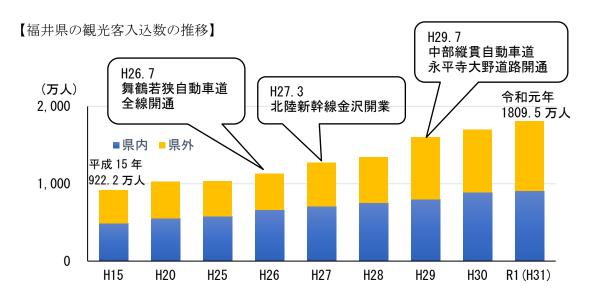
【通勤・通学時の利用交通手段】



〔出典:平成22年国勢調査〕

### (6) 主要観光地の観光客入込数

福井県の観光客入込数は、舞鶴若狭自動車道全線開通(平成 26 年 7 月)、北陸新幹線金沢開業(平成 27 年 3 月)の効果により大幅に増加し、令和元年には 1,800 万人を超え、年間 100 万人を超える観光地が県内に点在しています。北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線開通時には、さらなる観光客増加が見込まれています。



#### 【主要観光地の観光客入込数】



[出典:福井県観光客入込数(令和元年)]

### (7) パンデミック(感染症の世界的大流行)への対応

令和元年(2019年)12月に中国湖北省武漢市で感染者が報告された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、世界中へ広がり、国内でも感染拡大が続いている状況です。

今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大だけでなく、今後も発生する可能性のある 新たなパンデミックに備え、過度のグローバル化や都市への人口集中がもたらすリスクを 軽減するため、国際社会が一致団結して感染症対策を徹底するとともに、新たな国際分業体 制の確立や、リスクに強い「分散型国家」への転換が求められます。

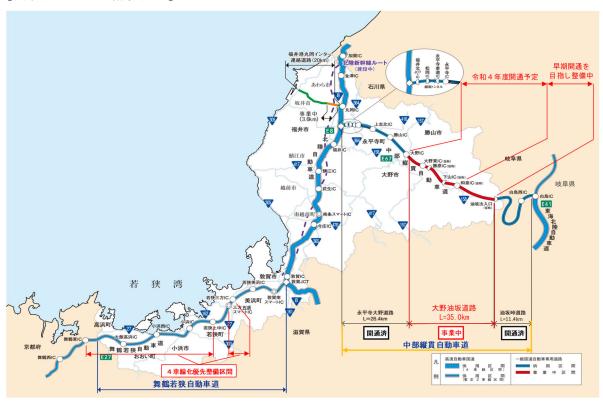
#### 2 福井県の道路をとりまく状況

#### (1) 高速交通網整備の進展

舞鶴若狭自動車道は、平成26年(2014年)に北陸自動車道敦賀 JCTに接続して暫定2車線で全線開通しました。

中部縦貫自動車道は、永平寺大野道路が平成29年(2017年)に暫定2車線で全線開通し、大野油坂道路は令和4年度に和泉IC(仮称)まで開通する予定です。残る油坂出入口(仮称)までの区間についても、早期開通を目指して工事が進められています。

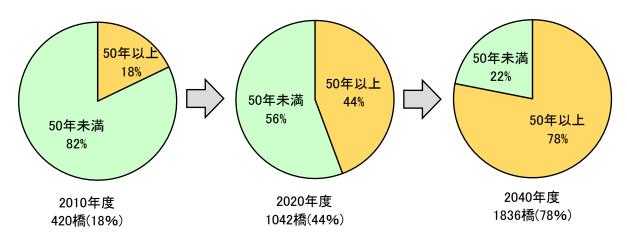
### 【高規格道路の整備状況図】



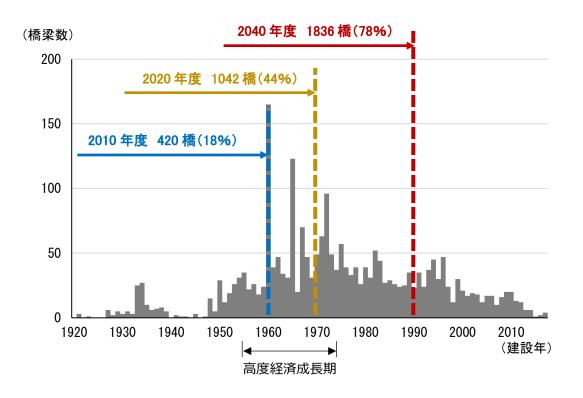
### (2) 道路施設の老朽化

県内の多くの橋梁は高度経済成長期以降に建設され、老朽化(建設後50年経過)が進んでいます。現在、県管理橋梁の約4割が老朽化しており、令和22年(2040年)頃には、約8割の橋梁が老朽化橋梁となります。

【建設後50年経過橋梁数の割合推移】(県管理橋梁)



#### 【建設年度別橋梁数】(県管理橋梁)



### (3) 道路改良率・道路整備率

福井県では、地域の実情を考慮しながら、路線の重要度や費用対効果などを踏まえ道路整備を進めてきましたが、道路改良率<sup>\*1</sup>は全国平均と比較して低く、北陸 3 県の中でも下位の31位となっています。一方で、道路整備率<sup>\*2</sup>は全国平均よりも高く、15位となっています。

【道路改良率】 (5.5m以上の国道・県道)

	順位	都道府県	改良率(%)
	1	北海道	95. 3
上位	2	沖縄県	93. 0
	3	埼玉県	88. 1
	12	富山県	82. 4
北陸3県	19	石川県	79. 2
	31	福井県	72. 3
	77. 2		

【道路整備率】(交通量混雑度1.0以下の国道・県道)

	順位	都道府県	整備率(%)
	1	北海道	92. 7
上位	2	岩手県	77. 0
	3	鳥取県	76. 5
	6	富山県	73. 3
北陸3県	13	石川県	67. 4
	15	福井県	65. 8
	64. 1		

〔出典:道路統計年報2019(平成30年4月1日現在)〕

### (4) 歩道の整備状況

福井県では、重点的に通学路の歩道整備を進めています。歩道の設置率\*3 を見ると全国 平均を下回っており、下位の44位となっています。

【歩道設置率】 (国道・県道)

	順位	都道府県	設置率(%)	
	1	沖縄県	78. 9	
上位	2	埼玉県	72. 6	
	3	東京都	71. 6	
	17	石川県	47. 7	
北陸3県	20	富山県	47. 0	
	44	福井県	33. 3	
	46. 2			

[出典:道路統計年報2019(平成30年4月1日現在)]

<sup>※1</sup> 国道・県道において、普通自動車がすれ違える(幅員 5.5m以上)の道路の割合 道路改良率=改良済延長/道路実延長(%)

<sup>※2</sup> 道路の改良率と混雑度を総合評価するもので、自動車のすれ違い走行が可能で交通量混雑度が 1.0 以下の道路の道路全体(実延長)に占める割合

<sup>※3</sup> 国道・県道において、歩道が設置されている道路の割合 歩道設置率=歩道設置延長\*/道路実延長(%) (\*道路中心線上の延長)

### (5) 県民との協働

平成19年度から県民と「協働」で県管理道路の維持管理の一部を行う道守活動を推進しています。地域住民や沿道の事業者等とともに歩道や植樹桝の清掃、花壇の手入れなど、道路の維持や美化に努めています。(令和元年度 道守活動団体数:92団体)

### 【道路沿いの花壇の手入れ状況】



国道 158 号(福井市奈良瀬町)



一般県道 日向郷市線(美浜町久々子)

### (6) 「福井県の道路についてのアンケート」の概要

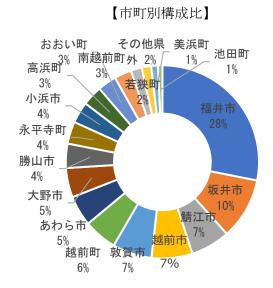
今回の「道路の将来ビジョン」の策定にあたり、県民の二一ズや地域の特性・要望等を把握するため「福井県の道路についてのアンケート」を行いました。福井県内17市町の幅広い年代の住民から回答をいただきました。(詳細な結果は巻末【参考資料2】を参照)

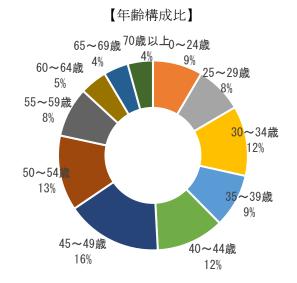
全般的に道路整備に対するニーズが高い結果となっています。

#### ・実施概要

調査目的	道路に関する県民の意識を把握し、今後の施策の参考とする			
調査項目	・道路に関する意識について			
两点次口	・今後の道路整備について			
調査時期	令和2年7月1日~令和2年7月31日			
	・市町役場(支所)、土木事務所、道の駅にて			
調査方法	アンケート用紙の配布(3,000 枚)、回収			
	・福井県道路建設課 HP 上インターネット回答			
	・アンケート用紙 : 919人			
回収数	・インターネット回答: 480人			
	合計:1,399人			

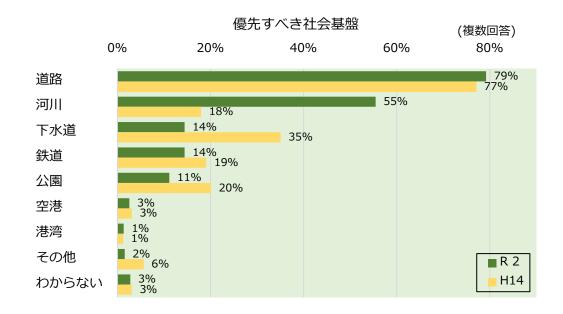
### ・回答者概要





### ・県民の道路に対する意識

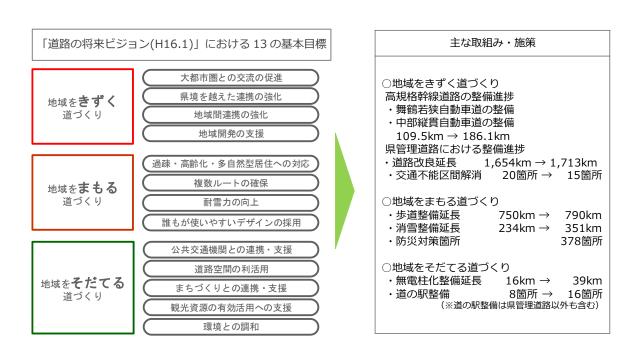
優先すべき社会基盤に関する質問において、平成 14 年のアンケート結果と同様に、 「道路」が最も高くなっています。



### 3 「道路の将来ビジョン(H16.1)」の成果

「道路の将来ビジョン(H16.1)」を策定した平成15年度から令和元年度までの16年間において、舞鶴若狭自動車道や中部縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通により、県内主要都市が高規格幹線道路で結ばれたことをはじめ、県内幹線道路も、国道8号福井バイパスが全線開通、国道158号奈良瀬〜境寺バイパス、国道162号阿納尻〜田烏バイパスが完成するなど、着実に整備を進めてきました。

また、消雪設備は117kmを整備し、防災対策箇所は378箇所で実施してきました。



#### 【主な整備箇所】



一般県道 勝山インター線 (H28年)



道の駅「若狭おばま」(H23年)

#### 4 福井県の道路整備の課題

#### (1) 福井県を開く広域道路ネットワークの整備

#### ○中部縦貫自動車道の県内全線開通

福井県と中京圏や関東圏との間を最短で結ぶ中部縦貫自動車道については、県内では大野・油坂間がミッシングリンク<sup>\*4</sup>となっています。大野 IC から和泉 IC(仮称)までは令和 4 年度の開通が予定されており、残る和泉 IC(仮称)から油坂出入口(仮称)間についても整備が進められており、早期の県内全線開通が必要となっています。

#### ○舞鶴若狭自動車道の全線4車線化

日本海側の国土軸を形成する舞鶴若狭自動車道については、平成26年7月に全線開通しましたが、一部区間を除き大部分が暫定2車線での対面通行となっており、度々、事故等により全面通行止めとなっています。令和元年度に国が策定した「高速道路における安全・安心基本計画」により、現在、県内の約15kmの区間で4車線化が進められていますが、平時・災害時の安定的な物流・人流を確保するため、早期の全線4車線化が必要となっています。

### (2) 身近な生活道路における交通安全の確保

県内の歩道設置率は全国平均より低い状況にあり、歩道の設置や段差の解消とともに、身近な生活道路における歩行空間を明示するためのカラー舗装や防護柵の設置など、子どもや高齢者も含めた歩行者の安全を確保する取組が必要となっています。

#### (3) 気候変動に対応した防災対策・環境と共生するみちづくりの推進

地球温暖化等の気候変動に伴い、大規模な災害が頻発しています。災害に備え支援物資等の輸送ルートを確保するため、ダブルネットワーク化や、緊急輸送道路等の重要な路線の防災対策が必要となっています。

また、地球温暖化の要因の一つである温室効果ガスの排出抑制に向け、自家用車による移動から公共交通機関を利用した移動への転換や近場の徒歩・自転車による移動の推進、電気自動車等の次世代自動車の普及を推進するための基盤整備や照明等の LED化等が必要となっています。

#### (4) 道路施設の老朽化対策

平成 26 年度から 5 年に 1 度の点検が義務付けられ、点検を行いながら、早期に補修が必要な箇所の対策を進めています。1 巡目の点検が完了した平成 30 年度末時点で、早期に修繕が必要なⅢ判定<sup>※5</sup>の県管理橋梁は 259 橋あり、全体の約 1 割にあたります。限られた予算の中で、橋梁のみならず既存施設を最大限に活かし、予防保全<sup>※6</sup>の補修による道路施設の長寿命化を図っていく必要があります。

#### (5)多様な主体による道づくり

道路に求められるニーズが多様化しており、県民や民間事業者と連携し、一体となった道づくりを進めていく必要があります。

また、道路空間を活用したイベント等による賑わいづくりや、花植え、みどりのスコップひとかき運動等、地域住民と一緒になって、使い、守っていく中で愛着のある道に育てていく取組を進める必要があります。

#### ※4 未整備により途中で途切れている区間のこと

<sup>※5</sup> 事後保全段階 (健全度の定義 I判定:健全、II判定:予防保全段階、IV判定:緊急措置段階)

<sup>※6</sup> 施設の機能や性能に不具合が発生する前に修繕等の対策を講じること

### 5つの基本方針と12の基本目標

- 1 広域交流の拡大 ~広くつながる道づくり~ |
- (1) 国土軸を形成し、県土の骨格となる広域ネットワークの構築
- (2) 東西南北に開き、交流を拡大するネットワークの強化









- (1)産業経済活動の支援
- (2) 周遊・滞在型観光の促進







課題解決 のための 基本方針



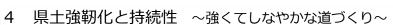
- 3 幸福度日本一の生活基盤 ~ふくいの暮らしを支える道づくり~
- (1)快適な生活をサポート
- (2)誰もが安全・安心
- (3)公共交通機関との連携強化











- (1) 大雨・大雪等の災害に備えた機能強化
- (2) 道路施設の予防保全・長寿命化
- (3) ICT を活用した道路管理の高度化・効率化











- (1) 地域のニーズに応じた柔軟な道路空間の創出
- (2) 豊かな景観づくりと環境との共生















#### <SDGsへの取組>

2015年の国連サミットにおいて採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現を目指し、国際社会が協調して取り組む世界共通の目標です。

道路の将来ビジョンにおいても、SDGsの理念に沿いながら、未来につながる道づくりを進めます。

# 1 広域交流の拡大 ~広くつながる道づくり~







福井県は、日本海側の中央に位置し、太平洋側にも近接している地理的優位性があります。アジア大陸に面し日本海側の玄関口となっている敦賀港・福井港を物流拠点とし、 大都市圏とのネットワークを強化して、物流・交流の拡大に繋げます。

### (1) 国土軸を形成し、県土の骨格となる広域ネットワークの構築

日本海国土軸を形成し三大都市圏をはじめとする広域圏を結ぶ、高速性、信頼性、安定性の面で優れている高規格道路の整備を推進します。

ミッシングリンクとなっている中部縦貫自動車道の大野 I C~油坂出入口(仮称)間の早期開通、暫定 2 車線となっている舞鶴若狭自動車道等の全線 4 車線化の整備を推進します。

また、高規格道路と一体となって広域ネットワークを形成する道路を整備し、敦賀港・ 福井港等の物流拠点へのアクセスを向上させます。

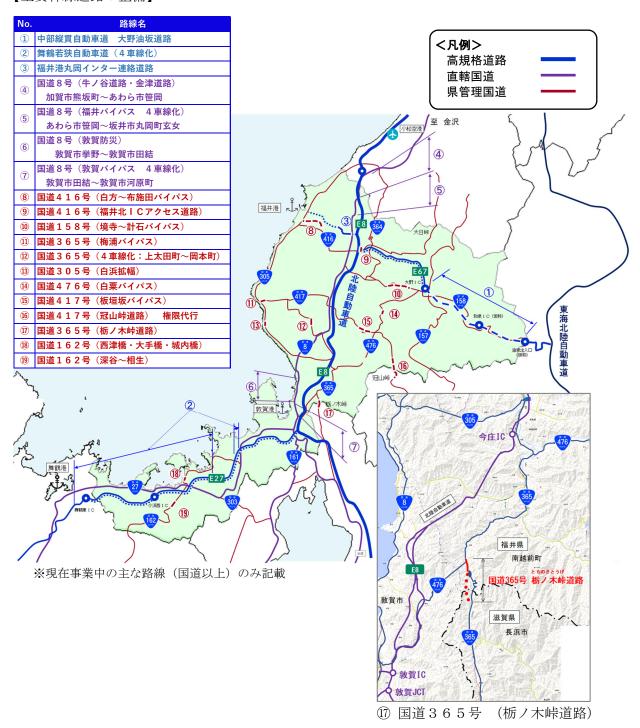


### (2) 東西南北に開き、交流を拡大するネットワークの強化

県土を東西南北に開き県境をまたぐ道路の整備を促進し、隣接府県との幅広い交流・ 連携の活性化を図ります。

広域交通を担う国道8号、国道27号、国道161号の直轄国道をはじめ、広域幹線 道路を補完・代替する国道303号、国道365号、国道417号など物流・人流の活 性化に寄与する幹線道路の整備を進めます。

#### 【主要幹線道路の整備】



### 2 産業・観光の活性化 ~ふくいをみがく道づくり~







北陸新幹線の福井・敦賀開業や大阪までの延伸、中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線開通など、大交流化を推し進めるチャンスを迎え、市場開拓・販路拡大など産業経済の活性化や県内外からの観光誘客など観光振興につながる道づくりを推進します。

#### (1)産業経済活動の支援

福井港やテクノポート福井等の産業拠点と北陸自動車道をつなぐ福井港丸岡インター連絡道路をはじめ、産業経済活動の支援や企業立地の促進、立地企業の規模拡大につながる道路の整備を進めます。

市街地の幹線道路の渋滞を緩和するため、右折レーンの設置や4車線化によるボトルネック\*7の解消など交通の円滑化を図ります。

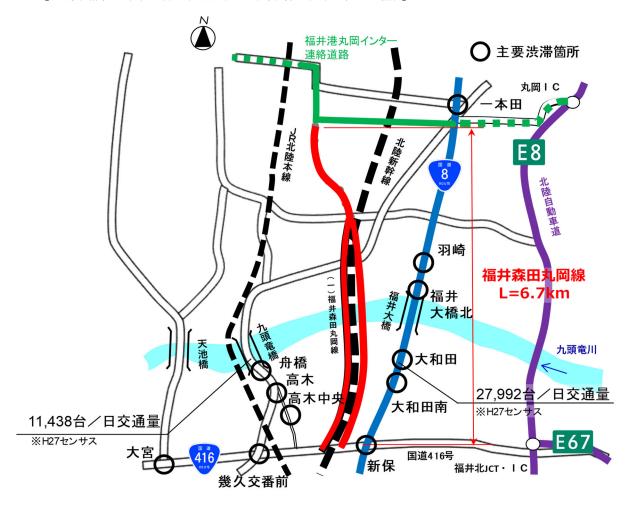
物流を担う長距離トラック等が、快適に休憩できるよう、道の駅やSA・PA等において、駐車スペースを確保するなど、施設の充実やサービスの向上を図ります。

# 【福井港丸岡インター連絡道路の整備】



※7 道路の幅が急に細くなったり、信号や踏切などにより車の流れが阻害される箇所

### 【渋滞箇所の対策事業(一般県道 福井森田丸岡線の整備)】



### 【福井市街地の渋滞状況】



羽崎(北進方向)



新保(南進方向)



高木 (南進方向)



福井大橋北 (南進方向)

### (2) 周遊・滞在型観光の促進

観光地等を結ぶ道路や広域周遊観光ルートを形成する道路など観光の活性化を促進する道路を整備します。観光地への道路標識や観光案内標識を設置し、はじめて訪れた人にもわかりやすい観光アクセスを確保します。

観光拠点となる道の駅については、多言語対応の観光案内やキャッシュレスの導入など、インバウンド対応とともに、さらなるサービス向上を図ります。

サイクリングコースのネットワーク化を進めるとともに、観光地の魅力を高めるため地域全体で景観創造や美観向上の取組を進めます。

### 【広域周遊観光ルート道路整備】



冠山峠道路の整備状況(岐阜県側)

### 【観光地へのわかりやすい案内標識】



主要観光地を案内標識に表示

### 【地域全体の景観創造・美観向上】





熊川宿 (若狭町熊川)

#### 【道の駅、SA・PA等の施設の充実化やサービス向上】



道の駅「恐竜渓谷かつやま」



道の駅「越前おおの 荒島の郷」

### 【サイクリングコースのネットワーク化】



ルート上の分岐点などに路面表示や標識を設置



三方五湖サイクリングコース



北潟湖畔自転車道(ハミングロード)

## 幸福度日本一の生活基盤~ふくいの暮らしを支える道づくり~









人口減少・高齢化が進む中、地域でいつまでも安心して暮らすことができるよう、基 盤となる道路の整備を推進します。通勤・通学、買い物等の日常生活が快適となる道路 ネットワークの充実を図るとともに、生活空間における道路の安全、安心を確保し、住 みやすい環境基盤を整備します。また、自動車に頼らず誰もが容易に移動できるよう、 鉄道やバスなどの公共交通機関との連携を強化し、交通の基盤づくりを推進します。

### (1) 快適な生活をサポート

過疎化や高齢化の進展に対応するため、通勤・通学、買い物など日常生活に利用され、 地域間の交流・連携を強化する幹線道路を整備し、道路ネットワークの充実を図るとと もに、ゆとりを持って運転できる走行空間づくりを進めます。

市街地内における短距離の移動に自転車を利用できるよう、自転車走行空間のネット ワーク化を進めます。

冬期における安全で円滑な交通を確保するため、除雪体制を充実するとともに、家屋 が密集している区間や急な坂道等の必要な箇所において、消雪施設を整備し、雪に強い 道づくりを進めます。

#### 【自転車の通行空間の整備】



国道476号(大野市日吉町)

### 【消雪設備の整備】



主要地方道 福井大森河野線(越前市白山)

### 【地域間を結ぶ道路の整備】



主要地方道 坂本高浜線 (おおい町石山)



国道158号 境寺~計石バイパス(福井市)

### (2) 誰もが安全・安心

通学路や交通量が多い危険な箇所を中心に歩道整備やバリアフリー化を進めるととも に、身近な生活道路において、歩行空間を明示するためのカラー舗装や防護柵の設置な ど、人にやさしく、安全・安心に暮らせる環境・基盤づくりを進めます。

また、高齢者や障がい者など、誰もが使いやすいデザインの道路空間の整備や、無電 柱化等による歩行者・自転車通行スペースの拡充など、快適な空間を確保します。

### 【踏切道の拡幅による歩道整備】







整備前

一般県道 西尾鯖江停車場線(鯖江市舟津町1丁目)

### 【防護柵設置による交通安全対策】







整備後

一般県道 敦賀美浜線(敦賀市金山)

### 【カラー舗装による歩行空間の明示】



国道 162 号(小浜市駅前町)

### 【無電柱化による通行空間の確保】



フェニックス通り(福井市春山1丁目)

### (3) 公共交通機関との連携強化

鉄道駅や道の駅などを拠点とした公共交通ネットワークを強化し、自動車に頼らずに 目的地まで移動できるよう、公共交通機関の利便性の向上を図ります。

新幹線駅や地域の核となる駅から観光地や地域拠点等への利便性の高いアクセスを確保するとともに、鉄道駅の近くに整備したパークアンドライド駐車場を活かし、鉄道の利用促進を図ります。

### 【駅前広場の整備】



南越駅(仮称)周辺(令和2年9月の整備状況)

#### 【パークアンドライド駐車場の整備】



えちぜん鉄道 永平寺口駐車場



福井鉄道 水落駅

### 4 県土強靭化と持続性 ~強くてしなやかな道づくり~









激甚化・頻発化する自然災害に備え、平常時・災害時を問わず人・モノ・情報の流れを確保する道路ネットワークの形成や機能向上を推進するとともに、防災設備・防災機能の強化を図る「道の駅」の整備を進めます。また、原子力発電所が立地する福井県として、日常的な利用に資するだけでなく、有事の際には広域避難ルートにもなる道路の整備、防災対策など機能強化を進めていきます。

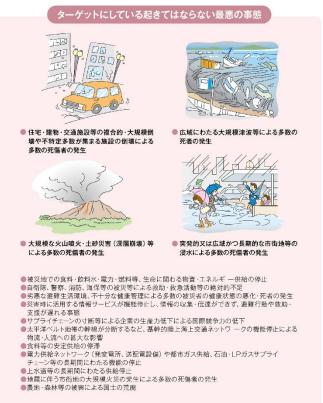
雪に強い道づくりとして、4車線化や道路拡幅、雪崩対策などハード面の整備を進めるとともに、短期集中的な大雪に対応できるよう除雪機械の広域応援など除雪体制の強化、関係機関との緊密な情報共有、道路利用者との SNS や地域一斉メール等多様な手段での情報共有などソフト面の対応強化を図ります。

道路施設の老朽化対策については、長寿命化修繕計画に基づき計画的に実施するとともに、事後保全から予防保全に転換することにより、持続可能な道づくりを推進します。

また、急速に進展している ICT を活用し、道路の異状の早期発見など道路管理の高度化・効率化を図ります。

<国の取組み> 国土強靭化にむけ、2013 年 12 月に「国土強靭化基本法」が成立

国土強靭化とは、大規模な自然災害などに備えるため、事前防災や減災、迅速な復旧・ 復興につながる施策を計画的に実施して、強くてしなやかな国づくりや地域づくりを進 める取組のこと。



〔出典:内閣官房国土強靱化推進室〕

### (1) 大雨・大雪等の災害に備えた機能強化

近年頻発する大規模災害時においても、人やモノの輸送を安定的に確保するため高規格道路のミッシングリンクの解消および4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による機能強化はもとより、重要物流道路や緊急輸送道路などの防災・減災対策を進めるとともに、複数ルートが確保できる県内道路ネットワークの形成を推進します。

また、日常的には人の交流や物流を担い、原子力災害時においては広域避難ルートに もなる道路の整備、防災対策など機能強化を図ります。

冬期においては、交通量の多い主要な幹線道路、インターチェンジや主要な病院への アクセス道路など最重点除雪路線を中心に、効率的な車道除雪を実施し、道路交通を確 保します。さらに、短期集中的な大雪時には、除雪機械の広域的な応援などにより除雪 体制を強化するとともに、県内への車両の流入を抑制するため行動自粛や広域迂回等の 呼びかけなどを行い、大規模な車両滞留の発生を抑制します。

通行規制や雨量情報、冬期における積雪情報や路面状況など道路に関する情報を、行政や警察、地域団体などの関係機関と共有し、一元化して利用者に発信します。

#### 【重要物流道路や緊急輸送道路における防災対策】



国道 417 号冠山峠付近の雪崩対策 (池田町河内)



国道 158 号の法面対策 (大野市下山)

#### 【「みち情報ネットふくい」による道路情報の発信】



### (2) 道路施設の予防保全・長寿命化

計画的な定期点検により橋梁やトンネル等の健全度を把握し、損傷度合いに応じて早期補修を行います。

より安全なインフラ設備の維持を目指し、事後保全<sup>\*8</sup>から予防保全への転換を図り、 長寿命化を推進します。

### 【橋梁やトンネル等の定期点検の実施】



国道 305 号 新保橋 (坂井市三国町新保)



国道 158 号 小和清水奈良瀬トンネル (福井市小和清水町)

### 【老朽化する道路施設の予防保全対策(橋梁の塗装塗り替え)】



国道 305 号 新保橋 (坂井市三国町新保)

### (3) ICT を活用した道路管理の高度化・効率化

AI監視等の新技術を導入し、道路施設管理の高度化・効率化を推進します。冬期除雪時には、GPS搭載の除雪車管理システムにより、効率的な除雪を行い住民の要望に早期に対応します。

また、データ等を活用した渋滞対策を行うなど、 ICT を活用し長期的かつ効率的に道路施設の機能確保を推進します。

### 【AI技術を活用した道路維持の効率化】



AIによる路面状態判別のイメージ

福井県と日本気象協会、ベンチャー企業は産官で連携し、福井県設置のカメラ画像を使用して凍結や積雪など路面状態をリアルタイムに判別していく実証実験を2020年12月から行っています。AIは画像を▽乾燥▽湿潤▽凍結▽積雪などと判別し、さらに、現場で県土木事務所職員が確かめた状況をAIに学習させ精度を高めていきます。

将来的に、道路の凍結防止剤の散布や除雪作業の素早い判断、効率化が期待されています。

#### 【福井県道路管理情報システム】



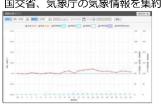
カメラ画像 道路377台、河川100台 福井県警、国交省、NEXCOとのデータ 連携により道路・河川カメラを集約



現場写真 スマートフォンサイトから登録された現場写真



積雪・気温グラフ 国交省、気象庁の気象情報を集約



除雪車輌位置(GPS)
除雪車輌に設置されたGPSにより現在



スマートフォンサイト 災害現場やパトロールで、内部システム と同等な閲覧が可能



通行規制情報 全227路線

福井県警、国交省、NEXCOとのデータ 連携により県内全ての規制情報を網羅



#### メール通報

トンネル内で事故等が発生し 押しボタンを押した場合や、 非常警報設備が故障した場合 に管理者へメール通報



福井県道路管理情報システムは、福井県および関係機関(国交省、県警、NEXCO等)の 道路状況や除雪状況を集約することで、刻々と変化する雪害状況をリアルタイムに把握し、 道路管理者の迅速かつ効率的な除雪作業を支援するとともに、公開サイト「みち情報ネット ふくい」によって、県民に向けた道路状況を発信します。

## 5 魅力ある道路空間の創出 ~居心地のよい道づくり~















道路に求められるニーズの多様化に対応した魅力的な空間を地域住民とともに創り出し、道路空間を身近に感じるよう工夫します。

クルマ中心から人中心へ、安全・快適な歩行空間の確保や人が集まる道づくりを推進 します。

### (1) 地域のニーズに応じた柔軟な道路空間の創出

既存道路空間の再構築等による歩行者・自転車空間の拡大により、心地よさが感じられ、賑わいのある美しい道路空間や緑豊かな、ゆとりある空間(緑道)を創出します。

ワークショップを開催し、計画段階から地域住民と一緒に取り組むなど、地域の二ー ズに応じた柔軟な道づくりを進めます。

イベントやオープンカフェ等の多目的に利用できるよう、利用者目線での魅力ある道路空間の利活用を推進します。

### 【地域ニーズに応じた歩行者・自転車空間の拡幅】



都市計画道路 武生中央線 (越前市府中1丁目)



国道8号 (敦賀市元町交差点~白銀交差点)

#### 【道路の多様な活用状況】



福井マラソン (フェニックス通り)



七間朝市 (大野市元町)

# 県道 磯部島西瓜屋線 みちづくり協議会(ワークショップ)

### キャッチフレーズ

### 語らいのある学舎のまち ♪ 楽しく歩きたくなるみちづくり♪

歩行者と自転車と車が共存し、 安全・安心・快適を実現

## 本

- 1. 歩行者が安全に安心して通れる配慮をすること
- や思いやりのあふれる道にすること
- 2. マナーや思いやりのあふれる道にすること 3. 明るく快適で気持ちのよい空間にすること
- 4. 地域のコミ ⅓ンの場となること
- 5. 地域の特色が感じられる空間にすること



意見交換



社会実験

# ~これまでのワークショップの流れ~

第1回「ワークショップに集まろう」

- 第1回「ワークショップに集まるう」
   平成18年9月30日
   ワークショップの目的の確認
   ・現地を歩いて、現道の問題点について、
   みんなで話し合い、まとめます。
  - 第2回「みちづくりを考えよう」
- 平成18年10月22日 ●現道の問題点の解決方法について、 みんなで話合い、「どんなみちにするのか」

第3回「みちづくりをしてみよう」 平成18年11月11日

- ●みんなで話し合い、アイデアを出し合って、
  - 第4回「みちづくりをまとめよう I」 平成18年12月10日
- ●これまでの意見やアイデアをまとめて、 ークショップが提案する計画案をひとつに まとめます。

第5回「みちづくりをまとめようⅡ」 平成19年2月10日

- ●前回に引き続き、これまでの意見や アイデアをまとめて、ワークショップが
  - 社会実験 平成19年2月25日~3月8日
  - 第6回「計画をもっと良くしよう」 平成19年4月15日
- ●ワークショップの成果をまとめ、計画案を 確認します。

第7回「みちの個別パートを考えよう」 平成19年6月24日

●舗装、照明、みちの名前を考えます。

道路工事 平成20年11月~3月

第8回「出来上がったみちを体験しよう」 平成20年4月19日

●現地を歩いて、完成した道を確認します。



一般県道 磯部島西瓜屋線(坂井市丸岡町寅国)

坂井市立丸岡中学校前の通学路は、幹線道路で交通量が多く周囲に商店街もあること から、生活道路や抜け道など様々に利用されています。 道路添いの歩道は幅 1,2mと狭い が現在の道路幅を拡げることは難しく、現況道路の幅員の中で歩道幅を見直す計画を周 辺住民の方々と共に検討するため、ワークショップを立上げ、社会実験を行いました。そ の結果と集まったいろいろな意見を反映して道路空間を再分配し、より安全で身近な道 路計画となりました。

### (2) 豊かな景観づくりと環境との共生

福井らしい歴史的なまちなみや豊かな自然景観と調和を図り、周辺の風景に合わせたデザイン性のある道路空間を創出します。

心地よい通行空間を永く持続できるよう、地域住民と共に花植えや清掃などの取組を推進します。

また、シェアサイクルや次世代環境対応車等への転換を図り、地球温暖化等の気候変動に対応した、環境と共生できる道づくりを進めます。

### 【住民参加の道づくり】



主要地方道 福井停車場線 (福井市大手3丁目)



国道 476 号 (大野市日吉町)

### 【歴史景観と合わせた道路空間整備】



永平寺町の自動走行ルート



無電柱化整備 (一乗谷朝倉氏遺跡周辺)



「ZEN drive」

# 道づくりの3つの進め方

- 1 効率的、経済的な事業展開とストック効果\*9の最大化
- (1) 選択と集中による事業展開
- (2) 建設〜維持管理〜更新を踏まえたライフサイクルコストの抑制
- (3) 既存の道路(ストック)の維持管理の充実と長寿命化

- 2 県民の参画と協働
- (1) コミュニケーション (情報共有と合意形成)
- (2) 愛着のある身近な道づくり

- 3 情報化技術の活用
- (1) 通信技術を利用した情報の収集・発信、一元化による共有
- (2) デジタル技術の有効活用

<sup>※9</sup> 整備された社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果

# 1 効率的、経済的な事業展開とストック効果の最大化

限られた財源の中で、重要性、必要性などを踏まえながら、新たな道路の整備と老朽 化する道路施設の維持管理を適切に行い、効果的な道路マネジメントを進めます。

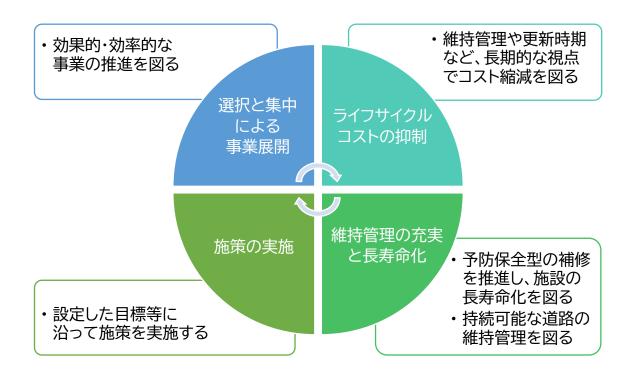
### (1)選択と集中による事業展開

地域の実情を考慮しながら、重要度や必要性を踏まえ、適切な事業評価を行い、効果的・効率的な事業の推進を図ります。

# (2) 建設〜維持管理〜更新を踏まえたライフサイクルコストの抑制 つくる時だけでなく、維持管理や更新を行う時期も含め、長期的な視点でコスト縮減 を図り、道路としての機能が最大限発揮できるよう道路施設の運用を図ります。

### (3) 既存の道路(ストック)の維持管理の充実と長寿命化

老朽化していく道路施設に対して、定期点検の実施や予防保全型の補修を推進するなど、施設の長寿命化を図るとともに、地域住民や民間事業者との合意形成を図りながら、持続可能な道路の維持管理を行います。



# 2 県民の参画と協働

これからの道づくりは、「つくる」時だけでなく、イベントや憩いの場として「使う」時や、維持管理して「守る」中においても、地域住民や民間事業者等と情報共有や合意 形成を図りながら、愛着の持てるよう「育てる」道づくりに向けて、道路管理者だけで なく「オールふくい」による総合的な取組を進めます。

# (1) コミュニケーション (情報共有と合意形成)

リーフレットやウェブ等を活用した積極的な情報発信を行うとともに、ワークショップ等による地域との合意形成を図ります。

また、子どもたちへの「道と共に生きる」教育なども取り入れながら、豊かな暮らし を支える道づくりを進めます。

#### (2) 愛着のある身近な道づくり

地域住民や民間事業者が主体となった花植え活動や環境美化運動等の道守活動や、みどりのスコップひとかき運動等を幅広く展開するとともに、地域が主体となった道路空間を活用したイベントの開催や憩いの場としての利用など、愛着をもって人が集まる賑わいのある道づくりを進めます。

#### 【住民による花植え活動】



一般県道 福井停車場勝見線 城東橋(福井市手寄)

#### 【イベントによる道路空間利用】



主要地方道 小浜停車場線(小浜市小浜住吉)

### 【みどりのスコップひとかき運動】





# 3 情報化技術の活用

近年、急速に進展する情報化技術を道づくりに活用し、道路に関する情報の収集・発信、共有化による渋滞対策や交通安全対策、維持管理の高度化・効率化を進めます。

### (1) 通信技術を利用した情報の収集・発信、一元化による共有

ICT 等を活用しながら、関係機関と積極的に情報交換し、利用者からの道路に関する 異状等の情報を収集、一元化して有益な情報として発信、共有することで、通行の安全 性や利便性の向上を図ります。

# (2) デジタル技術の有効活用

AI やビッグデータ等の利用により、渋滞や事故の発生により危険のある箇所の的確な 把握や画像解析による道路異状箇所の早期発見など、道づくりや維持管理の高度化・効 率化を図ります。

また、自動運転車など多様なモビリティの実用化がスムーズにできるよう基盤づくり を進めます。



# 参考資料

# 【参考資料1】

# 福井の道づくり懇話会

「道路の将来ビジョン」の改定にあたり、県内の有識者や各界・各層の代表からなる 「福井の道づくり懇話会」を設立し、意見を伺いながらビジョンを策定しました。

# 委員名簿

	氏 名	役 職
座長	南 保 勝	福井県立大学地域経済研究所 所長
座長代理	川 本 義 海	福井大学学術研究院工学系部門 教授
	清 水 則 明	(一社)福井県自動車会議所 会長
	杉 本 博 文	池田町長、福井県道路協会 会長
	髙 見 和 宏	(一社)福井県商工会議所連合会 専務理事
	長谷川 美香	福井大学学術研究院医学系部門 教授
	原田 陽子	福井大学学術研究院工学系部門 准教授
	水上 聡子	アルマス・バイオコスモス研究所 代表
	三 寺 潤	福井工業大学環境情報学部 教授
	山田 義彦	(公社)福井県観光連盟 会長

※役職は、懇話会開催時のもの

# 開催経過

第1回	令和2年 8月 6日	(1)福井の「道路の将来ビジョン」の改定について
		(2)福井の道路をとりまく状況について
第2回	令和2年10月 7日	(1)第1回懇話会の意見と県民アンケートの結果に
		ついて
		(2)道路の将来ビジョンの論点について
第3回	令和2年11月18日	(1) 道路の将来ビジョンの骨子(案)について
第4回	令和3年 2月 3日	(1)「道路の将来ビジョン」(案)について



福井の道づくり懇話会

# 「福井の道づくり懇話会」における主な意見

	主な意見		基本方針
道路ネットワ	<ul><li>・中部縦貫自動車道や国道8号など骨格となる道路の整備</li><li>・ミッシングリンクの解消</li><li>・防災や観光振興のため横に繋ぐ道づくり</li><li>・駅から幹線道路へのアクセス向上</li><li>・産業道路と生活道路の区分け</li></ul>	1	広域交流 の拡大
ークの重要性	・小さい産業(暮らしに密着した産業)への配慮 ・渋滞解消や、道路の走りやすさの向上 (ボトルネックの解消や右折レーンの整備) ・市町や県、国の領域を超えての広範囲な連携強化	2	産業・観光 の活性化
多様性のある	<ul> <li>・安心して歩ける道路</li> <li>・散歩や、自転車での移動が楽しめる空間</li> <li>(スローモビリティ、健康づくりの視点)</li> <li>・美しさや心地よさ(遠まわりしてでも通りたくなる道路)</li> <li>・景観づくり(デザイン性を持ったシンボルとなる道路)</li> </ul>	3	幸福度 日本一の 生活基盤
る道路空間	<ul><li>・多目的利用ができるよう柔軟性のある道路整備</li><li>・水辺空間、公共空間、沿道とのつながりを持たせる (地域にあったみちづくり)</li><li>・まちづくりと一体となって、賑わいを創出</li><li>・公共交通機関と連携した道路整備</li></ul>	5	魅力ある 道路空間 の創出
道路保全の重要性	・災害に強い道路(救援・支援の確保) ・道路構造物の定期的な点検実施 ・予防保全型の老朽化対策 ・新しい道路の整備だけでなく、今ある道路を維持 ・原子力発電所立地地域としての特色ある道路整備 ・デジタル技術活用による効率的な管理	4	県土強靭化 と持続性
県民とのコミュニケーション   ビ ジョ ン の 視 点	・住民と連携した道づくり (道路に愛着を持てる取組を行う) ・道路の重要性を県民にわかりやすく説明 (参画意識、維持管理意識を育てるために) ・地域の人が関わることのできる仕組み・仕掛けが必要 (地域と一緒につくりあげていく) ・道路予算が様々なことに使われていることを県民にPR (受益者もコスト意識) ・子供たちも参加可能な「道の教育」を行う (道路を身近に感じてもらえるよう工夫) ・ビジョンは、長期的な視点を持たせる ・多様化する道路の使い方を考える ・敦賀港もあり、日本の中心となる強い地位を持つ可能性 ・国内での福井県の位置付けが大きく変わる (中部縦貫自動車道の開通によりつながりが深まる) ・情報化を道づくりに活かす ・SDGsにつなげて政策転換		

# 【参考資料 2】

# 福井県の道路についてのアンケート結果

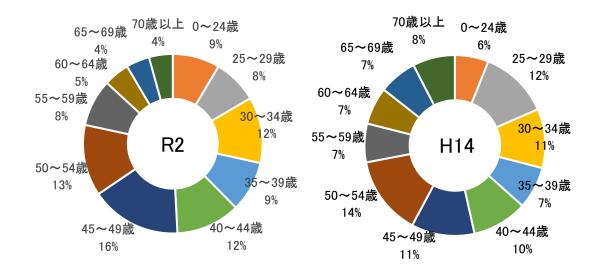
# アンケート実施概要

1.	調査目的	道路に関する県民の意識を把握し、今後の施策の参考とする
2.	調査項目	・道路に関する意識について
		・今後の道路整備について
3.	調査時期	令和2年7月1日~令和2年7月31日
4.	調査方法	・市町役場(支所)、土木事務所、道の駅にて
		アンケート用紙の配布(3,000 枚)、回収
		・福井県道路建設課 HP 上インターネット回答
5.	回収結果	有効回答数・アンケート用紙 : 919人
		・インターネット回答: 480 人
		合計:1,399 人
6.	その他	・道路に関する世論調査(内閣府 H28.7)に準拠
		・現行のビジョン(平成 16 年 1 月)策定時にも
		同様なアンケートを実施(H14.3) ※1,363 人回答

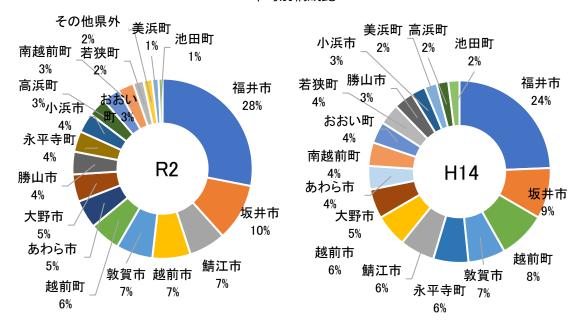
# アンケート質問および回答

# ・問1

# 年齢構成比

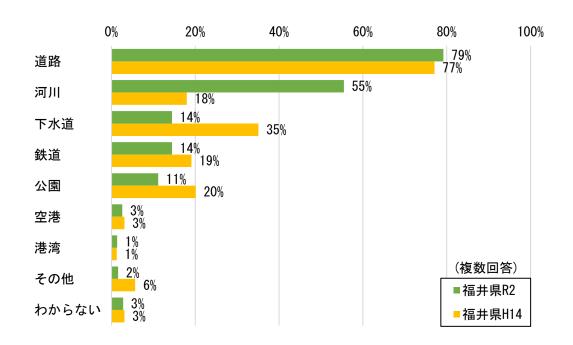


# 市町別構成比



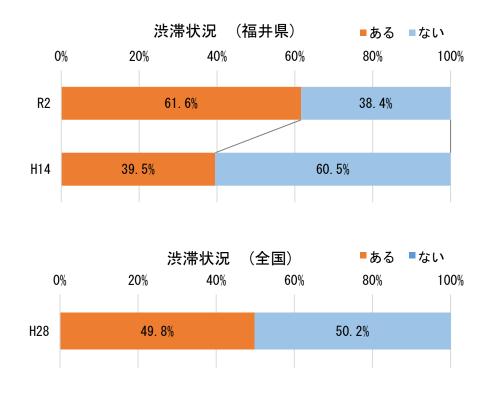
# ・問2 優先すべき社会基盤

社会基盤の整備により、私たちの生活環境は年々変化していますが、 あなたは、優先して整備すべき社会基盤は何だと思いますか。2 つまで選んでください。



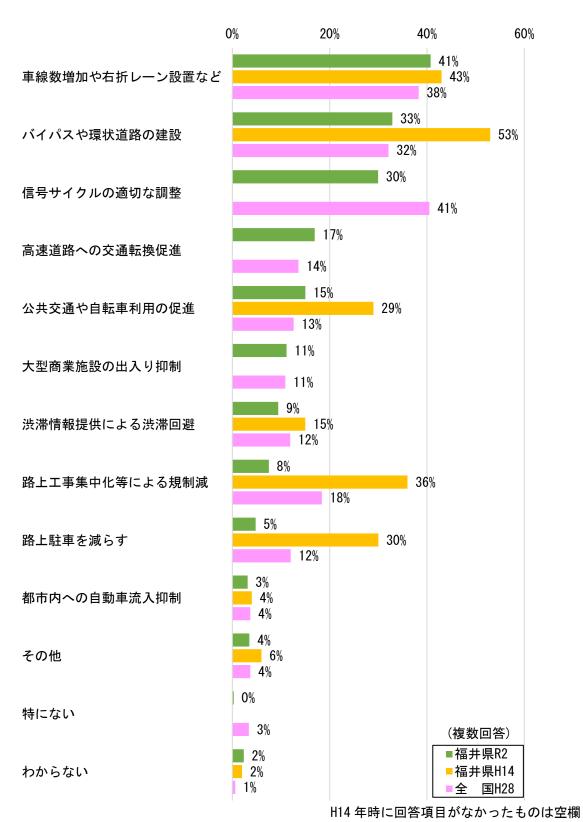
#### ・問3 交通渋滞

あなたがいつも通る道路で、交通渋滞していると感じる所はありますか。



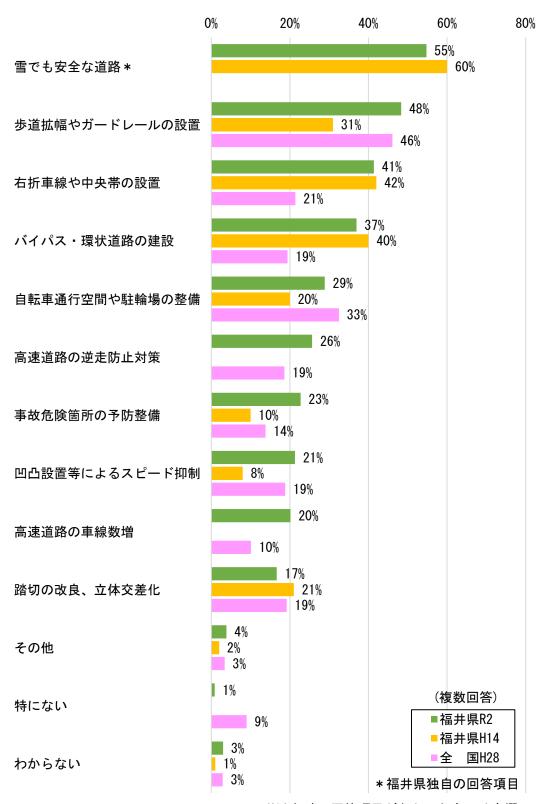
# ・問 3-1 交通渋滞解決のための道路施策

その交通渋滞を解決するためには、あなたはどうしたらよいと思いますか。この 中からいくつでもあげてください。



# ・問4 道路の安全性向上のための対策

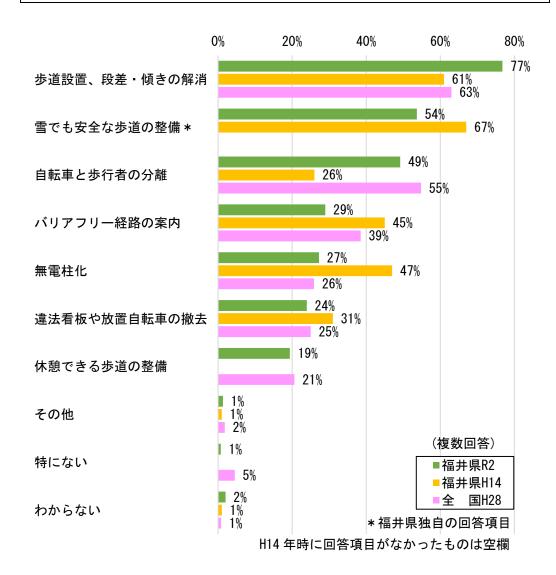
あなたは、道路の安全性向上のためには、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



H14 年時に回答項目がなかったものは空欄

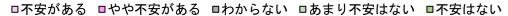
# ・問5 歩行者の立場から望む道路整備

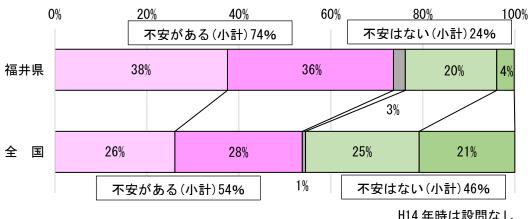
あなたは、高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道 路整備が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



### ・問6 災害発生時の道路の安全性に対する意識

あなたは、大地震や大雨、大雪などによる災害が発生した場合、お住まいの近く にある道路について不安を感じますか。この中から1つだけお答えください。

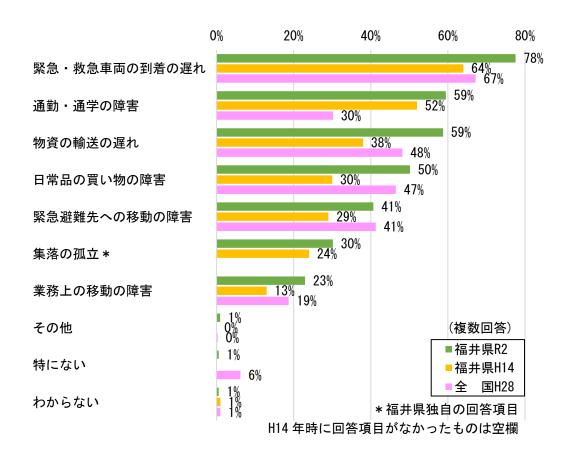




H14 年時は設問なし

### ・問7 災害発生時の通行止めによる不便を感じる内容

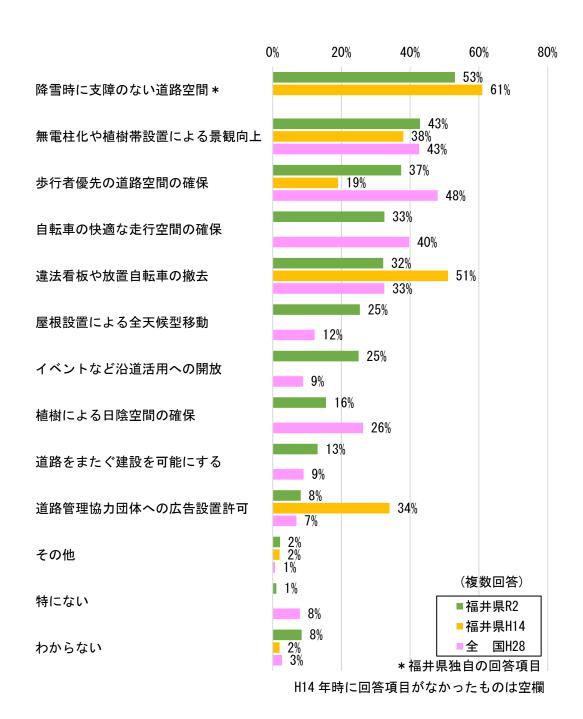
あなたは、大地震や大雨、大雪などによる災害により、よく利用する道路が通行 止めになった場合、どういうことに特に不便を感じると思いますか。この中からい くつでもあげてください。



- 49 -

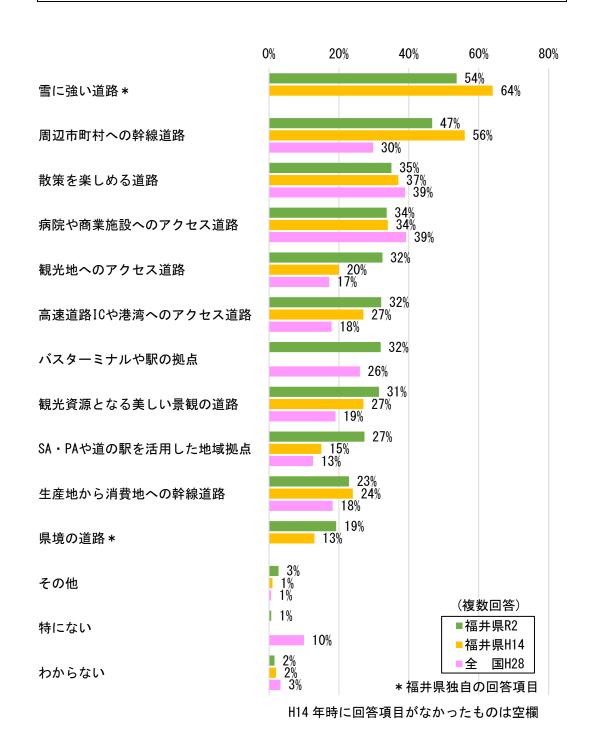
# ・問8 道路空間の有効かつ快適な活用施策

あなたは、道路空間とその沿道を有効かつ快適に活用していくためにどういった ことが重要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



# ・問9 活力ある地域づくりのための道路施策

あなたは、活力ある地域づくりのために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



- 51 -

# ・問10 観光振興のための道路施策

あなたは、観光振興のために、道路施策の面からどのような対策が必要だと思い ますか。この中からいくつでもあげてください。

> 60% 57%

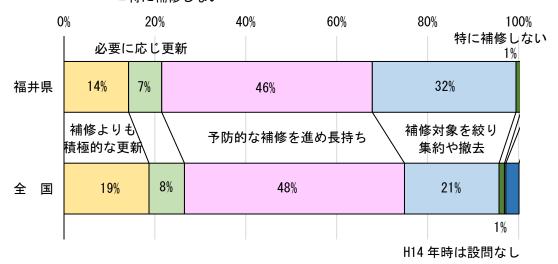
51%

0% 20% 40% 観光地へのアクセス道路 35% 観光地への分かりやすい案内標識設置 41% 45% 41% 駐車場整備による渋滞や路上駐車の削減 43% 高速道路料金の割引の充実 37% 35% 「道の駅」の整備や設備の充実 25% 19% 公共交通の利便性向上や自転車利用環境の整備 27% 観光地での車線数増加や右折レーンの設置 19% 27% 無電柱化や植樹による景観の改善 24% 21% 駅や観光地周辺道路のバリアフリー化 19% 県境の道路整備\* 渋滞情報提供による渋滞回避 5% 8% 観光地先への自動車の流入抑制 ■ 2% 0% その他 (複数回答) 1% 特にない 7% ■福井県R2 ■全国H28 わからない \*福井県独自の回答項目 H14 年時は設問なし

# ・問 11 道路構造物の維持管理、更新の考え方

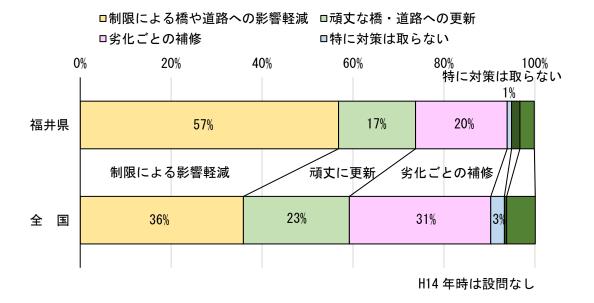
高度経済成長期に集中的に整備されてきた橋などの高齢化が今後進んでいますが、これらの橋などについて、どのように維持や修繕、更新を行うべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。

- □補修よりも積極的に更新
- □傷みが大きくなってから補修し、必要に応じ更新
- □予防的な補修を進め、長持ちさせる
- □優先的に維持補修を行う対象を絞って、集約や撤去を進める
- ■特に補修しない



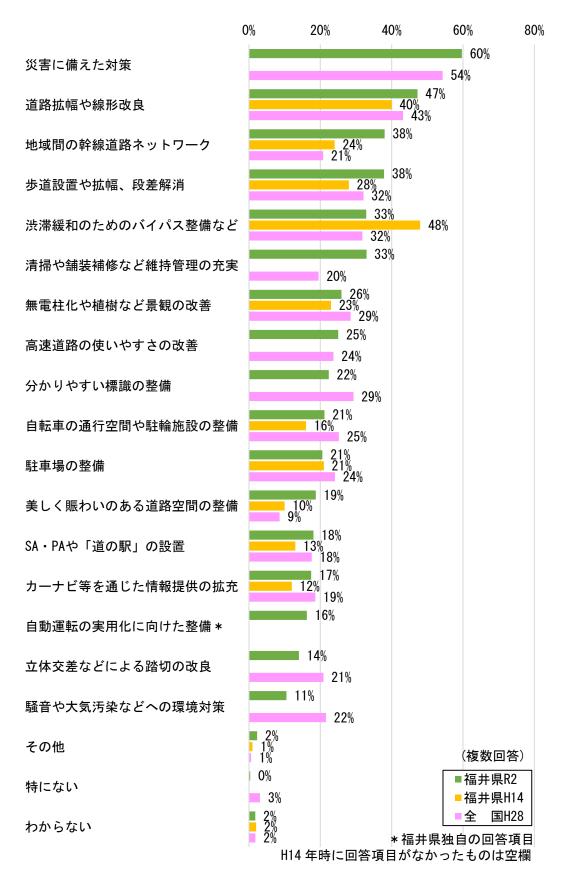
# ・問 12 車両の大型化に伴う橋・道路の劣化への対応

車両の大型化が進むことにより、物流の効率化やコスト削減が促進されます。 その一方で、橋や道路の劣化については、重い車両の走行が、主な要因の1つと言われているところです。この状況をふまえて、この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。



# ・問13 今後、力を入れてほしい道路整備

あなたは、どのような分野の道路整備に力を入れてほしいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。







あらかじめ、 幸せだったらいいな。

幸せ度いちばん 福井県

お問い合わせ先

福井県 土木部 道路建設課 〒910-8580 福井市大手3-17-1 TEL 0776-20-0474 FAX 0776-20-0658 詳しい内容はホームページでもご覧いただけます。 http://info.pref.fukui.jp/douroken/index.html

